

H 2 7 入学式

本日は、本校第42回入学式を挙げるにあたり、ご列席の来賓のみなさまに、本校の教職員を代表し心から御礼申し上げます。さて、先ほど入学を許可した新入生のみなさんに対して、入学を心から祝福いたしますとともに、本校の生徒として心から歓迎いたします。また、ご列席の保護者のみなさまにも、これまでの養育のご心労をねぎらい申し上げますとともに、併せてお子さまの本校ご入学をお祝い申し上げます。

新入生のみなさん、高校受検の日々はいかがだったでしょうか。昨年秋の学校説明会に始まり、1月末の願書提出、2月に入っての学力検査と面接、そして2月27日の合格発表と何度も藤沢西高校に足を運んでいただきました。長い受検の期間中はきっと不安な気持ちでいっぱいだったことでしょう。みなさんよく頑張りましたね。受検というものは、本人の努力はもちろんですが、ご家族の深い理解と協力が不可欠です。お父さん、お母さん方も本当にご苦労様でした。

さて、本校への入学にあたり、今日は私から新入生のみなさんに求めることが1つあります。それは、自らの行動を決める際に、これからは高校生として『したいことよりすべきこと』を考えて欲しいということです。つまり、気分や感情のおもむくままに行動するのではなく、今自分は

何をすべきなのか或いは何をすべきでないのかをよく考えて行動しなさいということです。

4年前の東日本大震災と原子力発電所の事故の後、私たち日本人は色々なことを改めて考えさせられました。人の幸せとは何か、豊かさとは何か、安心や安全とは何か。これからの日本を担っていく若いみなさんは、高校時代に「自分は何を大切に思い、どのような生き方をしようとするのか」を常に考えることを心がけてください。

誠に僭越ながら、保護者の皆さまにもお願いいたします。子供に何を許すか許さないか、何を買ってやるかやらないかという結論だけでなく、お父さんやお母さん方ご自身がどんなことを大切に考えているのかを是非お子さんにお話ししてください。15才で高校に入学し、卒業するときは18才でもう大人の仲間入りです。みなさんが豊かな価値観や人生観を育み、3年後に立派な大人となって藤沢西高校を巣立っていくことを祈念して、私の式辞といたします。